

地に残してきた戦友たちの墓参りをしたいと思いますが、体が思うようにならず、その思いが実現できずにあります。せめて地元の行事にだけは参加することにしております。

抑留記

岐阜県 千 邑 章

(旧姓 丹羽)

生年月日 大正十二(一九二三)年五月十三日

本 籍 岐阜県恵那郡武並村藤

軍 歴

昭和十九(一九四四)年三月二十日

二等兵 第一一 国境守備隊入隊

昭和二十年三月二十二日 上等兵

〃 九月九日

海林第一三三作業大隊に編入

抑留歴

昭和二十年十月上旬

海林よりグロデコウに移動

〃 十月中旬

グロデコウよりタイシエットに移動

〃 十月下旬

タイシエット九二ラーゲルから二七八ラーゲルの間を移動

抑留中は主として鉄道工事に従事した。第二シベリア鉄道の建設でした。この地区の犠牲者は枕木一本に日本人一人が死んだと言われている。何のためにこのような苦しみを受けたのか、私どもにはどうしても納得できません。

職 歴 農業

抑留記

岐阜県 各 務 松 茂

生年月日 大正十三(一九二四)年五月十四日

住 所 岐阜県恵那郡蛭川村

昭和十五（一九四〇）年、蛭川尋常高等小学校
卒業

〃 南満州鐵道入社

昭和二十年四月、現役兵として入隊、八月十五
日終戦

昭和二十年九月、貨物列車でコムソモリスク到
着、抑留生活が始まる。

部隊は約八百人で、宿舎は前に囚人の収容され
ていた建物で、作業は朝八時より夕方の五時ま
で、鐵道工事と伐採でした。

民主教育は徹底的に実施されました。だが、そ
れもすべて帰国するための方便だと考え転向した
ふりをしておりました。

昭和二十三年十一月、ナホトカへ到着、無事帰
国することができました。

昭和二十四年、蒲田紙器入社。四十四年、日本
ハイパック株式会社に勤務した後、四十五年、各
務紙器設立。その後、有限会社各務紙器と改名、

現在に至る。

無事に帰国できた者の務めとして現地へ墓参に
訪れたいと思っておりますが、なかなかその思い
を果たせずしております。申し訳ないと考えており
ます。

シベリア抑留記

愛知県 加藤 末 一

出生から入隊

出生地 名古屋市中村区牧野町字炭焼

出生 大正十二（一九二三）年七月二十五日生

入隊まで名古屋で育つ

昭和十八（一九四三）年春、笹島小学校
で徴兵検査を受け、約百二十人中甲種合
格約十人で、その中の一人である。

入隊からソ連軍侵攻まで